

会報

冬
No.148

2010.1

社団法人北海道電業協会





年頭ごあいさつ

北海道開発局

営繕部長

はやし
林

ただし
理

新春にあたり、謹んでご挨拶を申し上げます。

社団法人北海道電業協会の皆様には、国土交通省北海道開発局の官庁営繕行政の推進にあたり、常日頃よりご理解とご協力を賜っておりますことを、心から御礼申し上げます。

北海道開発局営繕部では、道内に所在する官庁施設（国の建築物）に対し、ふたつの役割を担っております。ひとつは、新営工事や改修・修繕工事などの施設整備、もうひとつは既存施設の保全に関する技術的指導です。

施設整備においては、行政需要の変化や老朽化、また耐震化や地球環境対策などへ対応した整備を行い、行政サービスの向上と施設の機能確保を図って参りました。本年におきましても、厳しい財政状況の中、緊急性の高いものから重点的・効率的な整備を進めていく所存です。

工事発注におきましては、一般競争入札方式において、より適切な参加資格要件の設定に努め、一層の競争性の確保を図って参ります。総合評価落札方式による品質確保、施工体制確認型によるダンピング対策は引き続き行い、昨年実施した調査基準価格の引上げとあわせ、実効性を確保して参ります。また、地域への配慮として、総合評価落札方式における地域精通度の評価も引き続き行って参ります。

もうひとつの課題である既存施設の保全に関しては、従来より、各施設に対する保全実態調査に

より状況を把握し、施設が良好な状態に保たれるよう、各省庁の施設管理者の方々に技術的な見地から指導・助言を行っております。ストックの有効活用を図るため、施設の機能維持だけでなく、建築設備の効率的な運用なども含め、一層重点的に取り組んでいく所存です。

このような官庁施設に関する様々な課題や社会的要請に的確に対応していくうえで、建築設備に関わる企業・技術者が果たすべき役割は非常に重要であります。特に近年では地球温暖化対策や安全性の確保などに充分配慮しつつ建築物を良好に機能させることが重要であり、運用管理段階も含め建築設備に関する高度な技術力が求められています。皆様が研鑽を積み、持てる技術力を十分に発揮していただくことを期待いたしております。

最後になりますが、北海道開発局においては、昨年2月に「コンプライアンス強化計画」を定め、それに従った業務運営に努力してきており、昨年10月には取組状況の中間報告も行ったところです。皆様には、引き続きご理解・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

経済情勢が厳しい中ではありますが、本年が、北海道の将来にとって希望の年となりますようご祈念するとともに、皆様のさらなるご発展とご健勝をお祈り申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。



平成22年の新春を迎えて

社団法人 北海道電業協会

会長 吉川 照一

新年明けましておめでとうございます。謹んで新春のご挨拶を申し上げます。

会員の皆様方には、何かと厳しい時代環境下ではありますが、新たな希望を胸にご家族お揃いで新春を迎えられたことと心からお慶びを申し上げます。

さて昨年をかえりみますと、戦後最大といわれる世界的な不況の中で我が国経済は後半には一部持ち直しの傾向も見受けられましたが、年末には政府のデフレ宣言等もあり、更には政権交代による変革の波も生じており、今後の景況については不透明感が強くどのように推移するかは予断を許さない状況と思われまます。

特に本道においては、他地域と比べても有効求人倍率等雇用関係も悪く当業界に一番関係のある公共工事の縮減、民間設備投資は一段と減少の方向であり、地域格差が一層顕著となり憂慮すべき状況であります。

このように明るい材料がない中ではありますが、本道においては他地域と比べ台風、地震等の自然災害の発生がなくこれが唯一の道民にとっての救いであったと考えるところでもあります。

当協会としても、この変革の時代、厳しい経営環境下ではありますが「健全経営と人材確保の出来る業界を目指して、適正で合理的な競争の展開」「建設工事の品質と透明性を確保し、顧客ニーズに的確に応える分離発注の推進」「地球環境の保全、省エネ・省資源に役立つ技術・資材を活用

し、持続可能な社会の実現」等を主たるモットーとして時代にマッチした事業展開を図る所存であり、我々業界は後ろ向きにならず、変革の時代に対応できるよう皆で知恵を出し合い協会の健全な発展と会員の皆様の繁栄につながるよう、一致協力、努力することが一番重要と考えております。

又この数年、建設業を巡って様々な不祥事が発生しているところでありますが、これらについて事業活動上の公正さを強く求められており、我々電設工事業界においても襟を正し企業の存立、発展をかけ法令順守の徹底等を図ることと併せ、更に近時のコスト度外視の安値受注に伴う工程管理の「しわ寄せ」が、工事の品質等への弊害が生じているところから今般、日本電設工業協会では「適正工期の確保」に関する取組みにつき取りまとめたところであり、当協会としても今後は本部との連携を通じ適切な対応を図る所存であります。

このような厳しい状況下ではありますが、我々は日ごろ培ってきた会員相互の信頼の下、北海道のライフラインの一翼を担う誇りと責任を自覚し、将来を見据え知恵を絞って諸課題に挑戦しようではありませんか。

年頭に当たり、会員各社の益々のご繁栄と、ご家族ともども皆様のご健勝とご多幸を祈念申し上げますとともに、協会への変わらぬご支援、ご協力をお願いいたしまして新年のご挨拶といたします。

野球も人生も同じこと 「戦う集団」と共に～勝利を目指して～

前JR北海道野球部監督 高岡 茂夫氏と語る



プロフィール

昭和24年12月27日 大阪府出身

- 昭和40年4月～昭和43年3月（私立北陽高校在学）
 - ・3年生時…主将を務める（春、夏大阪府予選にて敗退甲子園出場果たせず）
- 昭和43年4月～昭和47年3月（法政大学在学）
 - ・4年間通算8シーズンのうち5シーズン優勝経験（うち昭和44年秋～昭和46年春まで4連覇）
- 昭和47年4月～昭和58年11月（たくぎん在籍、現役12年間）
- 昭和60年8月～平成元年11月（たくぎん在籍、監督4年半）
- 平成元年全日本のコーチとしてインターコンチネンタル大会出場、キューバにつづいて銀メダル獲得
- 平成10年11月拓銀倒産後、北洋オフィスサービス(株)に入社
- 平成13年10月よりJR北海道に入社、同野球部監督に就任
 - ・平成21年 5年連続8回目の都市対抗本大会に出場
 - ・平成21年12月1日 同野球部監督退任

～現在に至る

- 日 時 平成21年10月16日(金)15時～16時30分
- 場 所 (社)北海道電業協会
- 出席者 前JR北海道野球部監督 高岡 茂夫氏
電業協会 中野副会長 橋本広報委員長 嶋津広報副委員長 鷹觜広報副委員長



(鷹觜副委員長)

インタビューを円滑にするために、私、鷹觜たかのほしが進行役を務めさせていただきます。まず、中野副会長よりご挨拶をお願いいたします。

(中野副会長)



JR北海道野球部の高岡監督におかれましては、大変お忙しい中、誠に有り難う御座います。ご承知のとおり、現在、100年に一度という経済状況と政権交代による社会状況の激しい変化が起きている最中ですが、企業が存続・発展するためには、人材の育成と現場力の

強化というところが大変重要だと認識しています。そういう観点で、チームの育成・強化について、これまで優れた実績を残しておられる高岡監督に、業界の人材育成についてのアドバイスをいただきたいと思います。

(鷹觜副委員長)



高岡監督が今日まで野球選手コーチや監督として豊富な経験を積み重ねてこられてきましたが、この点から橋本委員長よりご質問をお願いします。

(橋本委員長)



今日はどうも有り難う御座います。お目にかかり野球選手ということで、非常にガッシリした体格の人かなと思っていましたが、こんなに小柄なただとは思いませんでした。

た。

(高岡監督)



私が法政大学に入学した当時、4年生に田淵幸一さん、山本浩二さん、富田勝さんのいわゆる三羽ガラス、明治大学には星野仙一さんがいらっしゃいました。皆さん、180

cm以上の大柄な方ばかりで、入部したときに「こんな大きい人と一緒に野球をするのか」「これは無理だな」「レギュラーはとても難しい、野球部を4年間休まずに卒業しよう」と思っていたから、今こうやってスーツを着て、お話しさせていただいていると「本当に野球をやっていたの?」といわれます。

(橋本委員長)

大学卒業後、すぐにくくぎんへ来られて、それからずっと北海道にいらっしゃるのですか?

(高岡監督)

はい。30数年住んでいます。縁あってくくぎんにお世話になりました。

私のはじめて北海道拓殖銀行という名前を知っ

たのは、先輩である田淵幸一さんが、くくぎん強化練習の手伝から戻った時に「北海道は食べ物が美味しい」「くくぎんというところは、素晴らしい」というお話を伺い知りました。その時は、まさかお世話になるとは思っていませんでした。その後、先輩からのご縁もございまして、くくぎんに26年間お世話になり、北洋銀行では3年間、JR北海道で8年になります。

私はすっかり北海道人「どさんこ」です。

(嶋津副委員長)



地域と密着して少年野球に貢献されているお話を聞きました。その辺のことをお聞かせ願いますか。

(高岡監督)

少年野球教室には、いつもたくさんの応募をいただいております。日本ハムの室内練習場の時は80名ぐらいで、恵庭の外でやる時は100名弱の子供たちが参加しています。内野手の専門家、バッテリーの専門家、外野手の専門家、ブロックに分けながらいろいろと指導しています。当然少年ですから、間違っただけを伝えると、そのまま伝わってしまいます。間違っただけを、正しいことへ修正するためには3倍も4倍も労力がかかります。正しいことをそのままやっただけで、求められる選手に育ちますが、間違っただけを伝えますと、回り道してしまいます。やはりうまくならな



野球教室で少年たちとのふれあい



基本をしっかり

い分、少年たちもだんだん野球離れになりますので「野球は面白い、楽しい」ということを伝えていきます。

(嶋津副委員長)

指導するに当たり、伝えたいことは具体的に何でしょうか。

(高岡監督)

最近、人に対する思いやりが欠けた、道徳教育というものが非常に低下した事件がたくさん発生しております。野球はみんなで協力してやらなきゃいけないスポーツでありますから「和の大事さ」というものを伝えていきます。

いつも私が選手たちに伝えているのは「一人の力では絶対に勝てない。勝つときはみんなの力が集まれば勝てる」特に社会人野球は高校野球と一緒にトーナメントだから、負けたら終わり、もう次は無いです。そのときに周りが重要になってくる。弱いチームでも結集すれば強いチームを倒す可能性が出ますし、強いチームでも個々にバラバラであれば、弱いチームに団体で攻められ抵抗できない。必ずいい選手を集めたから、いい環境でやったから勝てるスポーツではない。ですから「和が大事ですよ」ということを教えています。

具体的には、キャッチボールをするとき「なぜ相手に取りやすいところに投げるのか」それは「相手を思いやる気持ちがあるから」ということを、野球を通じて教えている。「技術的な面ではなく精神的な要素がある」と教えています。

(鷹觜副委員長)

高岡監督はJR北海道野球部を5年連続で東京ドームへ出場させておりますが、私ども企業も、人材の育成強化という面において、今の時期、経営課題としてクローズアップされておりますが、この観点から、橋本委員長より質問をお願いします。

(橋本委員長)

監督はチームを強くすることが仕事ですが、「これだけは絶対必要」というものがありましたら教えてください。

(高岡監督)

私が現役・監督として戦っていた当時のJR北海道野球部はいわゆる「5強」(たくぎん・新日鉄室蘭・大昭和北海道・NTT北海道・王子製紙苫小牧)と戦うと全く歯が立たなくて、20対幾つぐらいの大差がつくほどの戦力でした。ですから、監督を引き受けたときは、まず基本方針をしっかりと持って「なぜ野球部があるのか」を選手に問いかけをして、意識改革からはじめて、チーム作りをやってきました。

うちのチームの状況から考えると、スーパースターは来てくれないので、本州のスーパースターや優良企業に勝つために「地域社会の貢献」「社員との一体感の醸成」「野球を通じての社員教育」「企業のイメージアップ」この4つの基本方針を掲げて、選手をしっかりと鍛え上げています。

一発勝負、負けたら終わりのトーナメントで戦いますから、野球というゲームは確率とミスのゲーム。「いかに確率を高めて勝つか」「いかにミスを少なくして勝ち上がるか」1番最悪の状態でも勝てるチーム「それは何か?」と考えますと、バッテリーを中心とした守りの野球、これが原点になっております。

(橋本委員長)

守り中心の野球を徹底しているわけですね。

(高岡監督)

はい、そのとおりです。私の方針は「守れなければ使えない」だから「レギュラーになりたかったら守りをしっかりしなさい」日本ハムの梨田監督と同じような方針でやっております。だから中田君みたいにただ打つだけじゃダメ。守りがしっかりできなきゃ使わない。そして、一番のポイントは指導者の情熱「この人を育てる」という情熱が大切です。頭の前から足のつま先まで常に見ておく。何か変化したならば「どうしたのか?」と聞く。ミスにも原因があって、メンタル面からくるものか、技術面からくるものか、体調面からくるものか、それが理解できないとカウンセリングができない。



ノックする手に力がある

私は今でもノックをやっていますが、選手によくこう言います。「積極性のあるミスは許す」「怖がったり、逃げたり、引き下がった積極性のないミスは許さない」と叱る。消極的なミスは、進歩がない。積極的に「取ってやろう」と向かってく

るミスは次につながる。常にそういったことを選手に伝えています。

(中野副会長)

色々とお話を聞かせて頂く中で、指導者の情熱が大事のほか4つの基本方針というのを挙げていただきました。「地域と密着してファンを作り、野球を通じた人格の育成、メンバーの一体感、イメージアップ」私どもの企業も業績の改善という面でも人材の育成で非常に参考になるところだと思います。それからミスの原因を分析できないことで、やはり育成には、つながらないと思いました。大変貴重なアドバイスとご意見を頂き、我々としても参考にさせていただきます。

これからもお元気でご活躍を頂きますよう、ご祈念申し上げますと共に感謝の気持ちとさせていただきます。



平成21年都市対抗道予選優勝 JR北海道球場にて

平成21年度経営者懇談会セミナー



平成21年11月17日(火)午後1時10分からホテルポールスター札幌において「平成21年度経営者懇談会セミナー」を開催し、会員代表者など約90名が参加した。

はじめに、吉川会長から最近の当業界を取り巻く経営環境について「戦後最大と言われる世界的な不況の中でわが国経済は2年連続のマイナス成長が見込まれている。特に本道では全国と比べても地域格差、業種格差が一層進んでいるところであり、極めて厳しい状況にある。更に近時の状況として工事量減少によるダンピング受注の問題等我々業界としてはかつてない厳しい状況が続くものと予想される。このような中で、電気は国民生活や、企業活動等に直結するライフラインとなっており業界として重要な社会的責任を担っていることを認識しなければならない。そのためにも、“法令を遵守”し、公正かつ適正な運営活動を続

けるのが大変重要な事である」と挨拶された。

経営セミナーでは、北海道開発局営繕部技術・評価課の須藤光幸課長が「営繕工事における総合評価落札方式」について、(株)建設経営サービスコンサルティング事業部主席コンサルタントの本間恒之氏が「建設業の経営戦略と人材管理」についてと題して講演された。

須藤課長は、総合評価落札方式(除算方式)による落札者選定のイメージについて、用意された資料により具体例をあげてわかりやすく解説された。

本間氏は「明日の見えない時代だからこそ、自社の存続意義を見つめ直し、理念・ビジョンを明文化して、利害関係者に理解してもらう事が大切で、競争が激しく利益の出ない時代だからこそ、内的報酬の最大化によって人材管理、モチベーションアップを目指すべき」と説き、具体的な戦略立案の手法を解説された。



須藤光幸 課長



本間恒之 主席コンサルタント

平成21年度 経営者懇談会



平成21年11月17日(火)ホテルポールスター札幌において、経営セミナーに引き続き「平成21年度経営者懇談会」を、会員代表者など約50名が参加して開催した。

本懇談会については、当協会を取り巻く諸問題、協会事業に関する意見や提言を頂き、今後の協会事業に反映し、更に会員代表者相互の意見交換の場として開催している。

はじめに、吉川会長から「我々を取り巻く経営環境は極めて厳しくなっている。当協会としてはこのような環境下であるが、品質の確保、価格の透明化により分離発注の一層の推進、適正かつ合理的受注等をモットーに、変革の時代に入っていることを認識して対応する事が重要である。又、一連の談合事件等により我々建設関連業界に向けて逆風が吹いているのも事実であり、この信頼回復に努める必要がある。特に、電気は国民生活に直結するライフラインとなっており業界として重要な社会的責任を担っている。本日の懇談会では、協会の健全な発展と会員皆様方の繁栄に繋がるよう活発な意見交換の場としたい」と挨拶された。

つづいて、広島専務理事の司会で議事進行とな

った。(議事次第参照のとおり)

【平成21年度経営者懇談会次第】

1. 平成21年度会員大会決議事項等について
2. 「適正工期の確保」に関する取組みについて
3. 北海道防衛局との意見交換会開催概要
4. 各地区協会からの近況報告
5. 協会事業および関係官公庁に対する要望事項について (フリートーキング)

懇談会終了後は、交流会となり会員相互和やかに親睦を図った。



各地区協会からの近況報告



吉川会長 挨拶



交流会の様子

平成21年度登録電気工事基幹技能者認定講習会



平成21年10月31日(土)～11月1日(日)の2日間、北海道電気会館において開催され、全道から63名が受講した。

この講習会は、国土交通省の提唱による「基幹技能者の確保・育成・活用に関する基本方針」をふまえ、(社)日本電設工業協会が策定した「電気技能労働者育成指針」に基づき、電気工事業界における基幹技能者を認定する講習会で、合格者には平成21年度から経営事項審査のなかの技術力を評価するZ評点に、3点が認められる。

最初に当協会の広島専務理事から、電気工事基幹技能者の職務について説明があり「建設現場での作業環境は短工期、大型複合化してきており、安全で高品質な建設物をお客様に引き渡すことが社会の要求となっている。作業管理や提案のできる高い能力を持った基幹技能者の役割は重要なので、この講習会を有意義なものにしていただきたい」と挨拶された。

認定講習会は、全国一斉に行われ当協会の認定



広島 維夫 専務



今野 正章 講師



内山 優 講師



澤田 博 講師

講習試験委員が講師となり、電気工事基幹技能者の役割や基礎知識など幅広い内容を講義した。受講者は資格取得に向け真剣に取り組み、特に講師からの重要ポイントについては、メモを取りながら熱心に耳を傾けていた。

講習終了後には、「認定講習終了試験」が監督官のもと実施された。

【講習内容・講師】

1. 開会挨拶 (社)北海道電業協会専務理事
広島 維夫
2. 建設技能者の労働環境
電気工事基幹技能者の在り方等
今野 正章 氏
(北海電気工事(株)電設工事部長代理)
3. OJT教育
澤田 博 氏
(三共電気工業(株)常務取締役工務部長)
4. 関係法規・ 施工管理・事務管理
内山 優 氏
(株北弘電社技術部 担当部長)
5. 工程管理・資材管理・原価管理
吉崎 俊明 氏
(拓北電業(株)取締役営業推進部長)
6. 品質管理・安全管理・労務管理
外岡 甫 氏
(協信電気工業(株)常務取締役)



吉崎 俊明 講師



外岡 甫 講師

北海道防衛局との意見交換会



平成21年9月29日(火)13時から北海道電気会館において、北海道防衛局和田調達部長をはじめ幹部の方々のご出席をいただき、当協会の吉川会長他8名と北海道電気工事業工業組合の谷口理事他14名が参加して合同による意見交換会を実施した。

はじめに、吉川会長から意見交換会開催のお礼を述べられ、続いて最近の電気工事業界を取り巻く状況に触れ、公共工事や民間設備投資が減少し工事量減少による「ダンピング受注」により品質確保の面で各種問題が生じている。その対応策として自らの経営革新はもとより、多様な戦略を構築して今まで以上に努力を惜しまない気持ちを伝え、本日の意見交換会を有意義なものにしたいと挨拶された。

続いて北海道防衛局の和田調達部長から、今回の補正予算の状況と来年度についての予想について述べられた後、最近の状況について「不落、不調が多く発生しているため業界に対してアンケート調査を実施した内容をご紹介しますのでザックバランな意見交換にしたい」と挨拶された。

【議 題】

1. (社)北海道電業協会、北海道電気工事業工業組合2団体の事業活動状況
2. 北海道防衛局の建設工事に関する契約方法
3. 意見交換会の趣旨及びアンケート調査
4. 意見交換会

○北海道防衛局調達部 出席者

部 長	和田 真佐人 様
次 長	川野部 雄二 様
計画 課長	佐藤 光雄 様
設備 課長	舟山 治 様
調達計画課補佐	川村 邦夫 様
調達計画課係長	中村 竜弘 様



和田部長 挨拶

安全衛生パトロール実施報告



平成21年11月12日(木)技術安全委員会委員による安全パトロールを実施した。

今回は、北洋大通センタービル新築工事現場で、当協会の会議室に集合し、はじめに澤田技術安全副委員長から「我々の業界は厳しい状況が続いているが、安全対策にはあらゆる状況を想定して取り組んで欲しい」と挨拶された。続いて東光電気工事(株)の工藤部長から、工事内容の概要説明を受けた後「点検前ミーティング」を行いパトロール現場へ向かった。

現場は、大通西3丁目の旧たくぎん本店ビル跡地で、平成20年3月に着工、平成22年3月に完成予定で作業が進められていた。地下4階地上19階、塔屋1階で最高部の高さ96m、札幌駅前通り・大通公園と調和しながら、ランドマーク性を有するデザインとなっている。受変電設備としては、3回線スポットネットワーク受電、33KVガス絶縁トランス、2,000KVA×3台、非常用ガスタービン発電機1500KVAとなっている。電気室は19階と5階に設置され、上層部の13階から18階までのテナントフロアと低層部の地下から12階までの北洋銀行本部フロアと別々にバランスよく供給できるようになっている。

現地では、東光電気工事(株)の鈴木現場代理人から当日の作業状況と、パトロール巡回ルートの説明を受けてから、初めに19階にある屋上電気室キュービクルの設置状況を点検、続いて15階で作業中の天井配線状況や7階ではシステム照明器具取り付け状況を確認。順次、各階に移動して最後に地下2階の駐車場の配管状況を点検して終了した。

終了後、鈴木現場代理人は「これから厳しい季節になること、さらに設備関係の業者が輻輳してくるなかで、完成の3月まで無事故・無災害で乗り切るように全員で協力して頑張る」と力強く語った。

午後から協会会議室において「安全パトロール点検表」のチェック項目の整理を行い全体総評が行われた。内容は、概ね良好であると評価し、最後に澤田副委員長から「現場の中はきちんと整理されており、全体的に良好であった。あとは、来年3月の完成まで安全には万全を期して取り組んで欲しい」と総評された。

【実施メンバー】

技術安全副委員長	澤田 博	(三共電気)
委員	工藤 保	(東光電気)
	内山 優	(北弘電社)
	〃 外岡 甫	(協信電気)
	〃 吉崎 俊明	(拓北電業)
	〃 中村 好宏	(旭日電気)
(随行者)	枝並 秀喜	(電業協会)



苫小牧電業協会との合同安全衛生パトロール実施報告



平成21年11月5日(木)苫小牧電業協会と当協会の技術安全委員による合同安全パトロールを実施した。

今回の現場は苫小牧市発注の第一学校給食共同調理場移転新築電気設備工事現場ほか3件で、苫小牧電業協会事務所の会議室に両協会関係者が集合し、はじめに苫小牧電業協会の瀧澤会長から「我々電気設備工事業界を取り巻く環境は一段と厳しくなっている状況下で、安全への取り組みは重要な課題である。年末になると気持ちの焦りから事故が増える。小さなリスクでも改善に結びつくように各現場で助言して欲しい」と挨拶された。パトロールは、A、Bの2班に分かれ2現場ずつ巡回することとなり、事務局からスケジュールと各現場の工事内容の概要説明を受けた後、「点検前ミーティング」を行い、パトロール現場へ向かった。

【実施場所】

- A班・第1学校給食共同調理場移転新築電気設備
・錦岡児童センター新築電気設備工事
B班・沼ノ端コミュニティセンター増築電気設備
・明徳団地公営住宅新築電気設備工事



A班は最初に、瀧澤電気工事・野田設備共同体が請け負う、第1学校給食共同調理場の現場を訪問。瀧澤電気工事の現場代理人から工程やこの日の作業内容の説明を受けてから、仮設電気設備の安全性、建築など他工事との安全体制確立状況、資材置き場の状態などを点検した。

各班終了後、電業協会会議室において「安全パトロール点検表」のチェック項目の整理を行い全体総評が行われた。

最後に瀧澤会長から、内容は概ね良好であると評価し「各現場は工事初期の段階で、電気設備工事としては全体的に良好であった。これから厳しい季節を迎えるので、冬季間対策を万全にすると共に、工事本格化に向けて掲示物やポスターなどを増やし安全意識を高め、無事故・無災害を継続して欲しい」と総評された。

【実施メンバー】

○苫小牧電業協会

会長	瀧澤 貢 (瀧澤電気工事)
副会長	田中 茂 (昭和電気工事)
〃	鈴木 則昭 (清水電設)
理事	丸山 昭英 (協栄電設)
〃	相馬 清 (守田電設)
〃	松浦 聡 (古畑電機)
〃	佐藤 重則 (ユーテック)
〃	古田 陽一 (古田電気)

○北海道電業協会技術安全委員

副委員長	澤田 博 (三共電気)
委員	外岡 甫 (協信電気)
	今野 正章 (北海電気工事)
事務局	枝並 秀喜 (電業協会)



海と、香り豊かな、果樹園の丘に囲まれた ・余市町

余市町長 上野 盛



ローソク岩

えびす岩 (左)・大黒岩

余市町は、北海道北西部の積丹半島の基部に位置し、道都札幌市から60km（車で1時間少々）、新千歳空港から100km（高速道路を利用して2時間）の距離にあります。北は日本海に面し、他の三方は緩やかな丘陵地に囲まれ、東から順に、小樽市、赤井川村、仁木町、古平町と接しています。

また、ニセコ積丹小樽海岸国定公園の一部にもなっており、美しい景観に恵まれた海岸線や河川

流域は観光価値が高く、数多くの遺跡等の文化財とともに観光資源としてその活用が図られています。

余市の果樹園は、アメリカ産のリンゴの苗木から始まり、日本で初めてリンゴを実らせました。全道の35%を占める余市の樹園地は、フルーツ王国の名にふさわしく、りんご、さくらんぼ、ぶどう、なし、プルーンなどの多くの果実を育てています。



ニッカウキスキー北海道工場余市蒸留所の創業者・竹鶴政孝氏は1934年（昭和9年）、自分の理想とするウイスキーをつくるため、りんごやぶどうの産地であり、澄んだ空気と夏でもあまり気温が上がらず、気候がスコットランドに似ておりピート地帯でもある余市町を選び操業を開始しました。工場内には、創業から琥珀色の夢を追い続けた竹鶴政孝とリタ夫人の軌跡を紹介しています。国産モルトウイスキーとしてシングルモルト余市1987が2008年WWA世界最優秀賞を受賞。また、竹鶴21年ピュアモルトが2007年、2009年WWA世界最優秀賞を受賞さらに2009年に英ロンドンで10月7日に開催された第14回インターナショナル・スピリッツ・チャレンジのウイスキー部門で、最高賞の「トロフィー」を受賞しています。



ニッカウキスキー北海道工場余市蒸留所

ニシンの千石場所と言われた往時をしのばせる文化財として、重要文化財1件、国指定史跡4件、北海道指定文化財2件、余市町指定文化財32件、国登録有形文化財1件と多くの貴重な文化財があります。

ソーラン節発祥の地にふさわしいイベントとして、毎年7月第1土日に開催される余市町のビックイベント「北海ソーラン祭り」は、毎年多くの観光客でにぎわいをみせています。1日目は、浴衣姿の町民がソーラン踊りでパレードをするほか、



北海ソーラン祭り

2日目はニッカウキスキー北海道工場余市蒸留所内で名産品フェスティバルやビンゴ大会などが行われ、多くのお客様でにぎわいを見せる他、夜は花火大会など多彩な催しを実施されています。

毎年9月の最終日曜日に開催される「味覚の祭典 よいち大好きフェスティバル」は、旬の海の幸・山の幸、そしてもぎたてのフルーツが格安で提供されるほか、全国から1000人以上の市民ランナーが健脚を競う「味覚マラソン」が同時に開催され、秋空の下、街は一気に盛り上がりを見せます。



味覚の祭典 よいち大好きフェスティバル

また、よい願いが叶う町として、母親の病気回復を願って余市町を訪ね、神社を順番にお参りしたら病気が治ったという不思議な言い伝えがある余市の幸福運巡りでは、ご自身のよき縁を得た感謝の手紙やご夫婦で宝くじに当たったというお礼が届いております。

幸福運巡りの順番は…余市神社→幸田露伴（こうだろはん）の碑→福原漁場→運上家・モイレ神社→三吉（さんきち）神社（よい）（幸）（福）（運）（三つの吉）距離にして4.8kmくらいですので、ぜひ試してみませんか？「余市の五カ所をまわると運氣が上がる」というお話です。ただし、この順番でまわらないといけないそうです。



幸福運巡り

詳しくは余市町ホームページへ
<http://www.town.yoichi.hokkaido.jp>



豊潤な海、深い緑の山と共に暮らすまち

枝幸町長 荒屋 吉雄



【町の地勢】



枝幸町は、北海道の最北を占める宗谷管内に属し、南北に長い地勢をもって同管内の最南部に位置しています。

南は函岳を含む山脈で雄武町と美深町と隣接し、南西は屋根棟山を分水嶺として音威子府村に、また、北から北西はポロヌプリ山とそれに連なる山脈で浜頓別町と中頓別町に隣接し、東は延長51.06kmの海岸線がオホーツク海に面しています。

面積1,115.67㎡が山林地帯で、この豊富な森林を源とする大小多数の河川を有し、特に北見幌別川・徳志別川・乙忠部川・風烈布川・音標川は水量豊富にオホーツク海に注いでいます。

えさしの森

緑豊かな山々に囲まれた枝幸町は、広大な森林を活かしたリラクゼーションエリア「うたのぼり健康回復村」があります。

緑の木立が目进行わり、空気はひんやりと涼しく、耳を澄ませば風の音や虫の音、せせらぎの音が聞こえてきて、ふれあいの森の頂上では、夜ともなれば降るような星空に圧倒されます。

草花が咲き誇り、動物たちが駆け回る短い夏が終わると、山はナナカマド・シラカバ・ダケカンバなどの紅葉で鮮やかに装い、パンケナイ川に鮭がひしめき秋が深まります。



えさしの海

潮の香りが漂う北緯45度ラインの港町枝幸町は、オホーツク随一の「毛ガニ」の水揚げ日本一で知られています。

海岸線は春から夏にかけて色とりどりの花が咲き乱れ、海に突き出た絶景の神威岬が神秘的にたたずんでいます。南に下ると海岸一面に畳を敷き詰めたような千畳岩が奇観を呈しています。

やがて日射しも弱まり秋の気配が漂ってくる頃には、鮭漁も本番を迎え実りの秋にむけて、まち全体が活気づきます。

やがて海は流水に覆われ大氷原に変わりますが、その下では数々のドラマが作りだされ、流水の天使「クリオネ」の姿も見ることができます。



日本一の水揚げ、毛ガニ漁

北海道オホーツク海沿岸地域は毛ガニの一大生産地。

流水が去った海明けの3月中旬から7月頃にかけて、漁港は何隻もの毛ガニかご漁船で活気づきます。

漁獲量はオホーツク全域で年間約1,200 t程度、そのうち枝幸町では220 t程度が水揚げされ、水揚げ量・水揚げ高ともに日本一を誇る「カニの町」として全国にその名を響かせています。

枝幸で行われている毛ガニかご漁は、殻を痛めず、また、識別し易いため規格より小さいカニやメスは海に戻し、厳選したオスだけを水揚げするので、枝幸産毛ガニの品質を維持し、資源の枯渇も防止できる効果的な漁です。



枝幸かにまつり

「毛ガニの水揚げ日本一の町」枝幸ならではのイベント。

毛ガニの早食い競争、毛ガニが当たる抽選会、毛ガニや海産物が景品のゲームなどの催しのほか、毛ガニをはじめとする枝幸の海産物の特売など、とにかく「かにづくし」のイベント。

■開催日 7月第一土・日曜日



よくばりフェスタ

特産の秋鮭をメインとした、オホーツクの秋の味覚を楽しむイベント。

特設の巨大プールで行われる恒例の「鮭のつかみどり大会」や海産物が景品のゲームなどの催しのほか、海産物の特売や鮭のチャンチャン焼き、海鮮鍋など味覚コーナーも充実。

■開催日 10月第一日曜日



現場からこんにちは

工事名称：平岸西小学校改築電気設備工事
工事場所：札幌市豊平区平岸1条15丁目13, 14
工 期：平成21年6月15日～平成22年3月5日
発注者：札幌市長 上田 文雄
施工業者：橋本電気工事株式会社

【工事概要】

受変電設備・幹線設備・動力設備・電灯設備・暖房設備・自動火災報知設備・拡声設備・テレビ共聴設備・構内交換設備・インターホン設備・電気時計情報設備・防災情報無線設備・自動閉鎖設備・屋外照明設備・電熱設備

今回取材をさせて頂いたのは、札幌市豊平区平岸にある札幌市立平岸西小学校の改築現場で現場代理人を努める 橋本電気工事株式会社 塩垣 秀信 さんです。

元々りんご園があった場所に昭和44年に開校し、現在も校地内にはエゾノコリンゴというりんごの木があり、今年もたくさんのサクランボ程の小さな赤い実をつけていたそうです。周辺は住宅街に位置しながら、近くには自然豊かな精進河畔公園があり、この公園を利用した児童の校外活動が盛んに行われているそうです。

この現場は校舎の老朽化に伴う改築工事で、グラウンドとして使用していた場所に仮設校舎を建て、旧校舎取り壊し後、新たに新校舎を建設するものです。

標準的な学校に比べ敷地面積が70%程度と、比較的小さな小学校です。限られた敷地の中で、利便性に富み・開放感あるコンパクトな学校作りを目標に設計されているそうです。

特徴的なのは、普通教室は日当たりの良い南側に配置され、校舎中心には吹き抜けを設ける等、居心地が良く開放的な作りとなっていることです。また、外断熱工法により建物の長寿命化・室内環境の向上が考慮されています。

現在の工程は建築を含め予定より早めに進んで



いる状況とのことであり、取材を致しました11月末には進捗率50%、12月末時点で80%を予定し、平成22年2月には受電を行い竣工まで順調なペースで進めていきたいとのことでありました。

現場は当然ながら近くで児童が授業を行い、近隣は住宅街で周辺道路は通学路にもなっておりますので、騒音をできる限り抑さえ（朝礼ではスピーカーを使用せず、ラジオ体操も小さな音で行っているそうです）工事車両の運行・資材搬入等にも十分に気を配り第三者災害を起こさぬよう十分配慮しながら、平成22年3月5日の竣工に向け毎日の安全管理を行いたいとのことでした。

今後も、災害防止協議会・店社安全パトロールを定期的実施し、安全施工の検討・改善を協議し『全工期無災害』を目標に『新校舎での学校生活を楽しみにしている生徒さんに快適に使用して頂けるような施設にしたい』という決意をお聞かせ頂き、今回の現場を後にしました。

塩垣さん現場作業の大変忙しい中を、私ども広報委員会にご協力頂きまして本当にありがとうございました。

取材 広報委員 大塚 雅史（北盛電設）
井草 貴弘（ダイダン）



現場代理人 岩垣 秀信 さん

分離発注訪問記

今年もまた陳情活動に赴いて参りました。

分離発注の「陳情要請活動及び御礼」については、毎年継続して実施されていますが、公共工事が減少する昨今では大切な活動の一つと考えています。

この訪問活動は瀧澤会長、田中副会長そして鈴木副会長が中心となり管内自治体へ積極的に足を運び、自治体の担当者あるいは首長にもお会いし、お願いをしているところであります。この活動は継続して行っているため、各自治体の窓口の方もスムーズに対応していただきました。これは、業界団体が陳情活動を永く続けてきた成果であると感じているところであります。

今回、会報に投稿するにあたり、苫小牧市の岩倉市長に事情をお話しして撮影を快諾していただき、市長応接室にて「公共工事の在り方」や「予

算について」などのお話しをすることができました。今後とも分離発注の継続をお願いしたところ、快くご理解をいただきました。

今後の社会情勢次第では公共工事に対する発注者側の考えが必ずしも一緒とは限りません。また同じ業界といっても中央に在る会社と地方に在る会社に温度差があることも事実だと思います。しかし分離発注の取組みを今後とも継続することは、共通の認識で価値ある事だと感じているところであります。

今回、我々の訪問に対応していただいた関係者の皆様へ御礼を申し上げ、訪問記とさせていただきます。

記 苫小牧電業協会 会長 瀧澤 貢
(株)瀧澤電気工事 取締役会長)



苫小牧市岩倉市長（左）へ手渡す瀧澤会長（右）

厚生委員会行事報告



新年明けましておめでとうございます。

会員の皆様方には益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

歌唱部会長になり、アツという間に一年間が過ぎました。写真でも分かるようにいつも楽しい雰囲気で開催できるのは部会スタッフや会員皆様のご協力の賜物と感謝いたしております。特に、毎回美味しいお酒を用意していただいております安達社長には感謝しております。誠にありがとうございます。

さて、今年度の会員数は約40名ですが、常時参加は20数名です。歴史ある歌唱部会のメンバーの



中には、プロ顔負けの歌唱力・芸達者な物真似・替え歌など多彩なパフォーマンスがあり、夕方5時からの2時間もアツと言う間に過ぎてしまうほど楽しい会です。会費は3,000円程度で、食事は軽食程度ですが、お酒は何でもOKです。肩肘張らないメンバーばかりですので、会員以外でも、是非ご参加して頂きたいと思っております。

今後とも、楽しい会を継続するために、努力して行く次第ですので、宜しくご協力お願い申し上げます。

歌唱部会長 向平 義美 (株北弘電社)

ゴルフ部会



明けましておめでとうございます。

会員の皆様方には常日頃からゴルフ部会の活動に多大なるご理解とご協力を賜っておりますことを心から厚く御礼申し上げます。

月日の経つのも速いもので一年という歳月もあっという間に通り過ぎてしまいました。昨年は4回のゴルフを企画してそれを実行させて頂きましたが、好天にも恵まれて会員の皆様方にも大いに楽しんで頂けたことと思います。私はゴルフのプレイを終えてコンペルームに入って、食事をしながら自分の順位が入れ変わっていく様に何とも言えない心の昂りを感じるのです。そして入賞した時は勿論、飛び賞にはまった時は何とも言えない喜びを感じます。そして最高の盛り上がりはなんとと言っても優勝者の弁であります。今年もサンエス電気の高橋さん、北海電気の元永さん、東邦電設の吉田さん、日本電設の松本さんから素晴らしい優勝者の弁をいただきました。一度は優勝者の弁を語ってみたいと誰しもが思ったことでしょう。コンペルームでの和気藹々とした雰囲気、これが同じ仲間の触れ合いなのです。大事にしたいものと思います。しかし、ゴルフ部会の幹事としては大きな不安要素があります。それは昨年の新年号にも書かれていたように、参加人員の減少であります。

【昨年の優勝者ご紹介】



第1回札幌国際CC
高橋昌宏さん(サンエス電気)



第2回札幌南CC
元永修さん(北海電気)



第3回 札幌エルム
吉田勇さん(東邦電設)



第4回札幌スコットヒル
松本一雄さん(日本電設)

昨年は1回目の札幌国際CCの32名が最高で、2回目の札幌南GCの23名、3回目の札幌エルムCCの28名、最後の札幌スコットヒルGCの23名と減少してきており、4回合わせての参加人員も104名と前年に比べても30名ほどの減少となっております。こうした状況を嘆かわしく思うのは私だけなのでしょうか？

思えば5年前に我が社は電業協会の会員になったのでありますが、ゴルフを通じて多くの人々との出会いがありました。とても素晴らしいことです。2年前に私は豊部会長から幹事を頼まれ、ゴルフへの愛着をさらに増すようになりました。

今回この新年号の原稿を書くように依頼を受けて思うには、ゴルフを通じて人と人との絆を大事にすることも電業協会の発展には大事なことなのだと思うようになりました。これからもゴルフを通じてのコミュニケーションを大事にしていきたいと思います。

ゴルフ部会といたしましては、今年も豊部会長を中心に7名の幹事で頑張りますので、ゴルフに参加することの有意義さをご理解頂き、多くの方々のご参加をお待ちいたしております。今年も宜しく願いいたします。

ゴルフ部会幹事 三井 尚(札幌日信)

ボウリング部会



平成21年度ボウリング部会 活動報告

新年明けましておめでとうございます。

日頃より会員の皆様には、ボウリング部会の活動にご協力を頂き有難うございます。

無事年間の活動を全て終了致しましたので御報告させていただきます。

今年度は、昨年同様、年3回の開催でした。7月、9月、11月にディノスボウルノルベサにて開催致しましたが、昨今のボウリング再ブームによって、2ヶ月以上前からの予約にも拘わらず、理想的な時間帯の確保が出来ず、会員の皆様には、大変ご迷惑をお掛け致しました。これも、参加者減少の一因かと考えております。

昨年、本年と参加者は20名前後で、一昨年迄の2/3程度に減少しています。

人間関係が希薄と言われる昨今、せめてボウリングで日頃の憂さを晴らし、表彰式では、酒を酌み交し懇親を深めたいものです。

新年度は参加費を引き下げ、6月、8月、10月の3回の開催を予定しています。

是非、会員の皆様の多数の参加で大会が盛り上がる事を期待しております。

(ボウリング部会長 関場 憲明)

第2回・第3回ボウリング部会報告

9月11日(金)に今年度2回目と11月16日(金)に3回目のボウリング部会が開催されました。参加者はやや少なめでしたが、いつもながらの盛り上がりで、多少うるさいですがとても楽しいひと時を過ごさせていただきました。参加者の大半は、若手営業マンの若さと熱気で、とても不景気とは感じさせない元気ハツラツな会です。

表彰式では、恒例の優勝者挨拶、ブービーメーカー挨拶も行われ大変盛り上がりました。特にブービー賞には2回目が関場部会長、3回目が島津電設の嶋津社長で、お二人とも大変照れておりました。

来年も楽しいボウリング部会で親睦を深めていきたいと思っております。

ボウリング部会幹事

小原木 正弘 (弘和電気) 記

平成21年度第2回 北海道電業協会ボウリング大会順位表

平成21年9月11日開催

順位	氏名	1G	2G	1Gハンデ	トータル	会社名
優	十日市 樹	184	122	39	384	北弘電社
準	吉岡 秀雄	153	133	39	364	弘和電気
1	嶋津 博	160	123	32	347	島津電設
2	田中 裕司	151	137	26	340	末廣屋電機
3	長谷川 政幸	153	151	16	336	北海道タツマ電気
4	内川 勝哉	168	117	25	335	北弘電社
5	森崎 亨一	153	155	13	334	北盛電設
6	大塚 雅史	125	132	33	323	北盛電設
7	本間 美則	146	126	23	318	拓北電業
8	尾形 武志	115	149	24	312	ドウデン
9	岡山 滋	121	140	24	309	協電社
10	橋本 佳明	118	167	11	307	橋本電気工事
(ハイゲーム賞) 184ピン		十日市 樹		北弘電社		
(ストライク賞) 8回		森崎 亨一		北盛電設		
(スベア賞) 9回		本間 美則		拓北電業		
(小波賞) 1ピン		土井 敬博		北海電気工事		
(ラッキー賞) 9位		岡山 滋		協電社		
(ラッキー賞) 11位		藤井 貴史		北海電気工事		
(ブービー賞)		関場 憲明		安達電設		
(ブービーメーカー賞)		畑 澄人		北海道タツマ電気		

平成21年度第3回 北海道電業協会ボウリング大会順位表

平成21年11月6日開催

順位	氏名	1G	2G	1Gハンデ	トータル	会社名
優	岡山 滋	151	157	34	376	協電社
準	内川 勝哉	187	136	25	373	北弘電社
1	藤井 大樹	124	153	46	369	でんこう
2	川村 直広	117	172	34	357	北海電気工事
3	尾形 武志	121	172	24	341	ドウデン
4	大塚 公仁子	96	120	58	332	拓北電業
5	菅井 末行	122	157	24	327	旭日電気
6	吉岡 秀雄	200	88	18	324	弘和電気
7	坂本 淳	110	109	52	323	協信電気
8	向平 義美	144	131	23	321	北弘電社
9	稲津 亘	150	153	6	315	北盛電設
10	福田 哲也	110	105	45	305	大成電気
(ハイゲーム賞) 200		吉岡 秀雄		弘和電気		
(スベア賞) 10回		菅井 末行		旭日電気		
(小波賞) 6ピン		稲津 亘		北盛電設		
(ラッキー賞) 4位		大塚公仁子		拓北電業		
(ブービー賞)		嶋津 博		島津電設		
(ブービーメーカー賞)		小薔 琢哉		北海電気工事		



第2回優勝者 十日市さん



第3回優勝者 岡山さん

業界だより

○会員退会

・(株)アイネット札幌営業所

平成21年10月31日付

理事会・委員会報告

|| 理 事 会

◇平成21年10月29日(木) 12:00~13:30

第4回議題

【協議事項】

1. 会員の退会について
 2. 平成21年度経営者懇談会・経営セミナーの運営について
 3. 「適正工期の確保」に関する運用について
 4. 平成22年電気3団体賀詞交換会の開催について
- 以上提案どおり承認された

【報告事項】

5. 本部理事会開催概要
 6. 第227回政策委員会開催概要について
 7. 北海道防衛局と電気2団体との意見交換会開催概要について
 8. 平成21年度会員大会の開催概要について
 9. 平成21年度登録電気工事基幹技能者認定講習開催について
 10. 平成21年度安全パトロールの実施について
 11. 公共事業労務費調査(21年10月)の実施協力依頼について
 12. 21年10月~11月行事予定について
 13. その他意見交換
- 以上概要を報告(広島専務理事)

◇平成21年12月9日(月) 16:30~17:30

場 所 京王プラザホテル札幌

第5回議題

【協議事項】

1. 今後総会までのスケジュールについて
 2. 平成21年度中間経理報告について
 3. 人材育成助成制度等の説明会について
- 以上提案どおり承認された

【報告事項】

4. 本部政策委員会開催概要について
 5. 平成21年度経営者懇談会・経営セミナーの開催概要について
 6. 平成22年電気関係賀詞交歓会について
 7. 平成21年度登録電気工事基幹技能者認定講習会開催結果について
 8. 平成21年度安全パトロールの実施について
 9. 「電設技術」へ年賀広告提供のお願いについて
 10. 平成21年度登録電気工事基幹技能者専門委員会の開催について
 11. 北海道赤レンガ建築賞第2回実行委員会の開催について
 12. 適正な財産運用の厳守について
 13. 平成21年度全道組合員名簿への広告掲載のお願いについて
 14. その他意見交換
- 以上概要を報告(広島専務理事)

|| 三 役 会

◇平成21年10月5日(月) 12:00~13:30

第7回議題

1. 会員の退会
2. 平成21年度経営者懇談会・セミナー開催要領

(案)

3. 本部理事会開催概要
4. 北海道防衛局と電気設備2団体との意見交換会開催概要
5. 平成21年度「公共建築の日」等のイベント協力
6. 平成21年度登録電気工事基幹技能者認定講習会の開催
7. 平成21年度会員大会の開催
8. 電力活用地区協議会「21年度見学会」の開催
9. 平成21年度定期講習運営連絡協議会の開催
10. 21年10月～11月行事予定
11. その他意見交換

◇平成21年11月9日(月) 12:00～13:30

第8回議題

1. 平成21年度経営者懇談会・セミナーの運営
2. 平成21年度中間経理報告について
3. 平成22年賀詞交換会来賓ご案内者
4. 道内市町村への分離発注の要請
5. 平成22年度優秀施工者国土交通大臣候補者の推薦
6. 建設業関連団体からの公開質問状に対する回答について
7. 平成21年度登録電気工事基幹技能者認定講習会の開催結果
8. 平成21年度安全パトロールの実施
9. 「電設技術」平成22年年賀広告募集
10. 平成21年度北海道赤レンガ建築賞審査状況
11. 21年11月～12月行事予定
12. その他意見交換

◇平成21年12月9日(水) 15:30～16:30

場 所 ホテルニューオータニ

第9回議題

1. 今後総会までのスケジュール
2. 平成21年度中間経理報告
3. 人材育成助成制度等の説明会
4. 本部政策委員会開催概要
5. 平成21年度経営者懇談会・経営セミナーの開

催概要

6. 平成22年電気関係賀詞交歓会
7. 平成21年度登録電気工事基幹技能者認定講習会開催結果
8. 平成21年度安全パトロールの実施
9. 「電設技術」へ年賀広告提供のお願い
10. 平成21年度登録電気工事基幹技能者専門委員会の開催
11. 北海道赤レンガ建築賞第2回実行委員会の開催
12. 適正な財産運用の厳守
13. 平成21年度全道組合員名簿への広告掲載のお願い
14. その他意見交換

総務委員会

◇平成21年12月14日(月) 16:00～17:00

第3回議題

1. 今後総会までのスケジュール
2. 平成21年度中間経理報告
3. 人材育成助成制度等の説明会
4. 本部政策委員会開催概要
5. 平成21年度経営者懇談会・経営セミナーの開催概要
6. 平成22年電気関係賀詞交歓会
7. 平成21年度登録電気工事基幹技能者認定講習会開催結果
8. 平成21年度安全パトロールの実施
9. 「電設技術」へ年賀広告提供のお願い
10. 平成21年度登録電気工事基幹技能者専門委員会の開催
11. 北海道赤レンガ建築賞第2回実行委員会の開催
12. 適正な財産運用の厳守
13. 平成21年度全道組合員名簿への広告掲載のお願い
14. その他意見交換

経営委員会

◇平成21年12月18日(金) 16:00~17:00

第4回議題 (議長:元永副委員長)

1. 第3回議事録(案)の承認
2. 電設協第228・229回政策委員会の開催概要
3. 平成21年度会員大会決議
4. 平成22年度電気関係賀詞交換会
5. その他意見交換

広報委員会

◇平成21年10月7日(木) 13:30~15:00

1. 会報冬号「新春特集」担当メンバーによる打ち合わせ
2. 会報「冬号」への編集日程

◇平成21年10月16日(月) 15:00~16:30

1. 会報冬号「新春特集」インタビュー
JR北海道野球部監督 高岡 茂夫 氏

◇平成21年11月26日(木) 10:00~12:00

1. 会報冬号「新春特集」インタビューの校正作業

◇平成21年12月10日(木) 15:00~17:00

第3回議題

1. 会報「春号」編集方針
2. 会報「冬号」校正
3. 新春特集
4. その他意見交換

技術安全委員会

◇平成21年12月21日(月) 16:00~17:00

第3回議題

1. 実施報告
 - ・平成21年度登録電気工事基幹技能者認定講習会
 - ・平成21年度経営者懇談会開催概要
 - ・工事現場安全パトロール

2. 登録電気工事基幹技能者認定専門委員会の開催概要 (広島専務理事)
3. 技術講習会の開催
4. 会員対象の現場見学会の開催
5. その他意見交換

事務局日誌

10月5日(月)・第7回三役会議

7日(水)・広報委員会WG

新春特集打ち合わせ

8日(木)・平成21年度会員大会 (高松市)

13日(火)・電力活用地区協議会施設見学会

(オエノンホールド→トヨタ)

枝並事務局長

16日(月)・広報委員会新春特集インタビュー

17日(土)・公共建築の日イベント

(モエレ沼公園)

21日(水)・第2回総務委員会

23日(金)・1種電気工事定期講習会連絡会

(第2合同庁舎)

27日(火)・第2回技術安全委員会

23日(金)・第4回理事会、常議員会

31日(土)・登録電気工事基幹技能者認定講習会

11月1日(日) (電気会館 大ホール)

5日(木)・安全パトロール 苫小牧

6日(金)・第3回ボウリング大会

9日(月)・第8回三役会議

12日(水)・安全パトロール 北洋ビル

13日(木)・本部政策委員会

(東京) 山口副会長

17日(火)・経営者懇談会・セミナー

・懇親会 (ホテルポールスター札幌)

19日(木)・本部運営委員会 (東京)

吉川支部長

26日(木)・本部理事会 (東京)

定例懇実施 吉川支部長他

27日(金)・歌唱部会

12月9日(水)・第9回三役会議

・第5回理事会、常議員会

(ホテルニューオータニ)

- 10日(木)・登録基幹技能者認定専門委員会
(東京) 広島専務理事
・第3回広報委員会
- 11日(金)・本部政策委員会
(東京) 山口副会長
- 14日(月)・第3回総務委員会
- 17日(木)・本部運営委員会 (東京)
吉川支部長
- 18日(木)・第5回経営委員会
- 21日(月)・第3回技術安全委員会
- 25日(金)・会報冬号、発送・配布
- 28日(金)・御用納め

編集後記

新年明けましておめでとうございます。

光陰矢のごとし、時の経つのが、加齢とともに加速度的に早くなってきたのは、私だけでしょうか。平成22年は、景気低迷の暗いトンネルから脱出して、希望と夢のもてる年となることを願っております。

さて、この度は北海道開発局営繕部長 林 理様には公務多忙の中ご執筆を頂き、誠にありがとうございました。

また、新春特集として、前JR北海道野球部高岡監督には、社会人野球日本選手権大会を控え、猛練習の合間に、お忙しいところ対談に快く応じていただきました。対談の中で、企業は経済不況の厳しい局面にありますが「企業は人なり」と言われるように人材育成が重要課題であり、社会人野球の世界においても、大事なテーマであります。都市対抗本大会（東京ドーム）へ5年連続8回目の出場を果たされた実績をもつ監督に、大いに語っていただきました。次から次へと泉のごとく出てこられる言葉、今日までのご努力とご苦勞が一気に伝わってきました。企業経営においても、ピンチあり、チャンスあります。参考になるお話も多かった対談でした。ありがとうございました。

最後になりますが、皆様方にとって今年がすばらしい年となりますことをご祈念申し上げまして編集後記とさせていただきます。

広報副委員長 鷹薮 克夫

社団法人 北海道電業協会活動スローガン

1. 顧客と社会から信頼され、「健全経営」と「人材確保」の出来る業界を目指して、「適正で合理的な競争」を展開しよう
2. 建設工事の品質と透明性を確保し、顧客ニーズに的確に応える「分離発注」を引き続き推進しよう
3. 地球環境の保全、省エネ・環境資源に役立つ「技術・資材」を活用し、持続可能な社会の実現に貢献しよう



発行 平成22年1月
社団法人 北海道電業協会
札幌市中央区南1条東1丁目3番地
パークイースト札幌6階
TEL (011)271-2932
FAX (011)271-2952
E-Mail:dodenkyo@estate.ocn.ne.jp